

精神看護学演習

ナンバリング:N3-S1-I03

責任者・コーディネーター	地域包括ケア講座 高崎 邦子 講師		
担当講座・学科(分野)	地域包括ケア講座		
対象学年	3	区分/単位数	演習/1単位
期間	前期		

・学修方針(講義概要等)

精神保健上の問題を抱えている患者を、患者としてだけ見定めるのではなく、その人に固有の生活の背景や、家族と地域生活との関係において理解する。精神疾患をもつ患者の回復を助けるために必要な治療的援助関係をアセスメントし、看護師が自らケアを提供する手段や方法を事例を用いてかわり方を学修する。特に患者の生活史や家族背景、地域環境要因を把握し、患者の言動の持つ意味を多面的に理解できることによって、治療の場の構造や文化を看護に活用することを目指す。

・教育成果(アウトカム)

既習した精神保健領域における基礎的な知識を基に、精神保健上の問題を抱えている人へのケアを考え、実践できる能力を養うことができる。 ケアの実践には「症状の理解」、「対象者の言動の意味を多面的に理解する力」、「関係性をアセスメントする力」、「自分自身をケアに活用する力」が求められる。そのため、事前学修やグループディスカッション、発表を通して、対象者理解にとどまらず自己理解を深め、看護の多様性や可能性に気づき、創造的な看護を実践するための能力を育む。また、実践に活かせるアセスメント能力や対人関係能力を身につける。	
【学位授与方針と当該授業科目との関連】 本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。	
1	医療人としての全人的人間性をもち、豊かな教養を身につけ、常に自分を振り返る、謙虚な態度を持つ。
2	生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。
3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
4	看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。
5	患者との関係性のアセスメントを行い、看護を受ける人が自ら持つ力を高められるような援助理論と方法を身につける。
6	災害等の危機的状況においてもできるかぎり平常時と同様のケアを提供できるような構想力を身につける。
7	保健医療福祉システムの中で、多職種連携を図り、看護の機能と看護職者の役割を理解し、調整機能を果たすための基礎的能力を身につける。
8	コミュニティーにおいて、医療職福祉職以外の人や機能と連携し、健康上の課題の解決に向けたネットワークが形成できるように看護職者の地域活動の機能を理解する。

・到達目標(SBO)

1. 精神疾患や障害を持つ対象者を全人的に理解する視点について説明できる。 2. 患者の置かれた状況、家族関係など社会的環境を踏まえたアセスメントを行うことができる。 3. 対象者の生きにくさやストレスの観点を踏まえ、対象者が主体となるケアを考察し、説明することができる。 4. 治療の場の構造や文化を含めた包括的な視点で関係性を捉え、自己理解を活用したケアを考察し、説明することができる。 5. 精神保健上の入院および地域での看護師の役割を考え、課題を含めて説明できる。
--

・授業日程

【演習】 会場：マルチメディア教室、大堀記念講堂		
月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
4/3 木 3限	【授業内容】 関係性のアセスメントの基本 精神看護学概論、精神看護方法論で学修した内容と本科目のつながり、演習の意図、進め方についてオリエンテーションを行う。 ・本科目と関連科目のつながりについて説明できる ・本科目の意図、進め方を理解し、今後の演習に取り組むことができる 【関連するSBO】 1、2、3 【事後学修:90分】 学修要点シートへの記載 (マルチメディア教室)	地域包括ケア講座 高崎 邦子 講師

4/11 金 1限	【授業内容】関係性のアセスメントの展開1① 統合失調症患者のケア 「統合失調症患者の事例」を用いて、これまでに学修した診断と疾病分類に基づいた発病と回復のプロセスを活用し、対人関係に着目してアセスメントを行う。 ・実習記録用紙の記載方法について解釈し説明できる ・統合失調症患者のアセスメントを展開できる ・積極的に各ワークに参加し、記録やディスカッションなどで自身の考えや気づきを表現できる 【関連するSBO】 1、2、3 【事前学修:90分】 必要な語句を調べる、事例を確認して課題ワークシートに記載 (マルチメディア教室)	地域包括ケア講座 遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師
4/11 金 2限	【授業内容】関係性のアセスメントの展開1② 統合失調症患者のケア 「統合失調症患者の事例」を用いて、これまでに学修した診断と疾病分類に基づいた発病と回復のプロセスを活用し、対人関係に着目してアセスメントを行う。ワークやディスカッションによる成果は、ICTの活用や発表などで、全体での共有を図る。 ・統合失調症患者のアセスメントを展開できる ・積極的に各ワークに参加し、記録やディスカッションなどで自身の考えや気づきを表現できる ・患者理解および自己理解を活用した関わりを具体例を挙げることができる 【関連するSBO】 3、4 【事後学修:90分】 学修要点シートへの記載 (マルチメディア教室)	地域包括ケア講座 遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師
4/16 水 1限	【授業内容】関係性のアセスメントの展開2① 気分障害患者のケア 「気分障害患者の事例」を用いて、これまでに学修した診断と疾病分類に基づいた発病と回復のプロセスを活用し、対人関係に着目してアセスメントを行う。 ・実習記録用紙の記載方法について解釈し説明できる ・積極的に各ワークに参加し、記録やディスカッションなどで自身の考えや気づきを表現できる 【関連するSBO】 1、2、3 【事前学修:90分】 事例を確認して課題ワークシートに記載 (マルチメディア教室)	地域包括ケア講座 遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師
4/16 水 2限	【授業内容】関係性のアセスメントの展開2② 気分障害患者のケア 気分障害について、これまでに学修した診断と疾病分類に基づいた発病と回復のプロセスを活用し、対人関係に着目してアセスメントを行う。ワークやディスカッションによる成果は、ICTの活用や発表などで、全体での共有を図る。 ・気分障害患者のアセスメントを展開できる ・PTSD(心的外傷後ストレス障害)における看護について説明できる ・患者理解および自己理解を活用した関わりを具体例を挙げることができる 【関連するSBO】 2、4 【事後学修:90分】 学修要点シートへの記載 (マルチメディア教室)	地域包括ケア講座 遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師
4/18 金 3限	【授業内容】異和感の対自化とプロセスレコード① 関係性をアセスメントする意味や自己一致がもたらす効果を知り、感情を活用したアセスメント方法や援助方法について学ぶ。 ・関係をアセスメントすることの意味を説明できる ・自己一致について説明できる ・感情を活用したケアの方法について説明できる ・プロセスレコードおよび異和感を記載する目的・記載方法について説明できる 【関連するSBO】 2、4 【事前学修:60分】 WebClassのプロセスレコード、異和感の対自化の記載例を読み、題材となりそうな場面や感情を課題ワークシートに記載 (マルチメディア教室)	地域包括ケア講座 遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師
4/18 金 4限	【授業内容】異和感の対自化とプロセスレコード② 実習場面や日常場面でのプロセスレコード・異和感の対自化を記載・共有し、感情に着目したカンファレンスのあり方について学ぶ。 ・「プロセスレコード」および「異和感の対自化」の記載ができる ・感情に着目をして吟味し、気づきを述べることができる ・自己理解を生かした関わり具体例を挙げることができる 【関連するSBO】 4、5 【事後学修:90分】 振り返りシートの記載、学修要点シートへの記載 (マルチメディア教室)	地域包括ケア講座 遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師

4/24 木 3限	【授業内容】関係性のアセスメントの展開3 強迫性障害患者、パーソナリティ障害患者のケア 強迫性障害やパーソナリティ障害について学び、生きにくさや苦悩を理解した関わりについて探求する。 ・強迫性障害の特徴や治療、看護の役割について説明できる ・パーソナリティ障害の特徴や治療、看護の役割について説明できる ・生きにくさや苦悩を理解した関わりについて探求し、具体例を挙げることができる 【関連するSBO】 1、2、3 【事前学修:60分】 キーワードについて調べて課題ワークシートに記載 【事後学修:60分】 学修要点シートへの記載 (マルチメディア教室)	地域包括ケア講座 熊地 美枝 准教授
5/7 水 1限	【授業内容】関係性のアセスメントの展開4 神経症性障害患者、ストレス関連障害患者のケア 神経病性障害、ストレス関連障害、発達障害について学び、生きにくさや苦悩を理解した関わりについて探求する。 ・神経病性障害、ストレス関連障害の特徴や治療、看護の役割について説明できる ・発達障害の特徴や治療、看護の役割について説明できる ・生きにくさや苦悩を理解した関わりについて探求し、具体例を挙げることができる 【関連するSBO】 1、2、3 【事前学修:60分】 キーワードについて調べて課題ワークシートに記載 【事後学修:60分】 学修要点シートへの記載 (マルチメディア教室)	地域包括ケア講座 高崎 邦子 講師
5/7 水 2限	【授業内容】患者への接近法1 社会のなかの精神障害 精神障害者が社会のなかでどのような「生きにくさ」を抱えているのか、また同時にどのような「ストレングス」を持っているのかについて、視聴覚教材を用いて理解を深め、精神保健上の課題について考察する。 ・精神障害者が抱える「生きにくさ」と「ストレングス」について自身の考えを述べるができる ・精神障害者のスティグマについて自身の考えを述べるができる ・精神保健上の課題について自身の考えを述べるができる 【関連するSBO】 1、2、3、5 【事前学修:60分】 キーワードについて調べて課題ワークシートに記載 【事後学修:30分】 学修要点シートへの記載 (マルチメディア教室)	地域包括ケア講座 高崎 邦子 講師
5/14 水 2限	【授業内容】患者への接近法2 精神疾患を抱える体験とケア 精神疾患を抱える当事者および家族の体験を聴き、社会のなかでどのような生きにくさや苦悩があるのかを知り、看護のあり方について探求する。 ・精神疾患を抱える当事者や家族の苦痛や苦悩を理解し、述べるができる ・当事者および家族の体験を聴き、看護について考察し、述べるができる ・精神保健上の入院や地域での看護師の役割を課題も含め述べるができる 【関連するSBO】 1、2、3、5 【事前学修:30分】 キーワードについて調べて課題ワークシートに記載 【事後学修:60分】 感想文の記載、学修要点シートへの記載 (マルチメディア教室)	地域包括ケア講座 遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師 ゲストスピーカー
5/21 水 1限	【授業内容】患者への接近法3① 入院および地域における看護の展開 病棟での看護や地域における実際の関わりを知り、多職種連携の必要性や看護の機能と役割を理解する。 ・地域移行の必要な看護師の役割について考察し、述べるができる ・地域における精神看護の役割について述べるができる 【関連するSBO】 1、2、3、4、5 【事前学修:60分】 課題ワークシートへの記載 (大堀記念講堂)	地域包括ケア講座 遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師 ゲストスピーカー
5/21 水 2限	【授業内容】患者への接近法3② 入院および地域における看護の展開 事例を用いて、学生もロールプレイへの参加やICTを活用し、ケアについてゲストスピーカーとともに考える。 ・ディスカッションで自身の考えを表現できる ・精神看護のケアのありかたを考察し、述べることができる ・病院および地域での精神医療の課題について考察し、述べることができる 【関連するSBO】 1、2、3、4、5 【事後学修:90分】 感想文の記載、学習要点シートへの記載 (大堀記念講堂)	地域包括ケア講座 遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師 ゲストスピーカー

6/3 火 1限	【授業内容】精神疾患を持つ患者への看護と関わり① 学生が実習で遭遇した場面の事例について、ストレングスの観点を踏まえながら、学生自身の感情を活用した看護や関わりをグループワークを通して探求する。グループワークの内容はICTの活用や発表などで、全体での共有を図る。 ・患者の生きにくさやストレングスについてアセスメントし、説明できる ・感情を活用した看護や関わりを創造し、具体例を挙げることができる 【関連するSBO】 1、2、3、4、5 【事前学修:90分】 今までの授業内容の振り返り (大堀記念講堂)	地域包括ケア講座 遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師
6/3 火 2限	【授業内容】精神疾患を持つ患者への看護と関わり② 学生が実習で遭遇した場面の事例について、ストレングスの観点を踏まえながら、学生自身の感情を活用した看護や関わりをグループワークを通して探求する。グループワークの内容はICTの活用や発表などで、全体での共有を図る。 ・患者の生きにくさやストレングスについてアセスメントし、説明できる ・感情を活用した看護や関わりを創造し、具体例を挙げることができる 【関連するSBO】 1、2、3、4、5 【事後学修:90分】 学習要点シートへの記載 (大堀記念講堂)	地域包括ケア講座 遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師

・教科書・参考書等

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	系統看護学講座 専門分野 精神看護学[1] 精神看護の基礎 第6版	武井麻子	医学書院	2021
教	系統看護学講座 専門分野 精神看護学[2] 精神看護の展開 第6版	武井麻子	医学書院	2021

教:教科書 参:参考書 推:推薦図書

・成績評価方法

【総括的評価】 定期試験(多肢選択問題、記述問題)70%と事前課題シート20%、最終授業の成果物の評価10%の合計100%にて評価をする。事前課題シートおよび最終授業の成果物の評価については、ルーブリック評価とし、初回授業で提示する。 【形成的評価】 ・授業終了時に「リアクションペーパー」の提出を求め、学修の成果を確認する。 ・授業終了時に習得度チェックを実施し、学修状況ならびに理解度を確認する。
--

・特記事項・その他

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】 ・事前課題については、授業内で解説し、学生にフィードバックする。 ・授業終了時に行う習得度チェックについては、授業内に解答・解説を行う。もしくは授業終了後にWebClassで解答・解説を掲示する。 ・リアクションペーパーは、次回の授業もしくはWebClassを通して、学生にフィードバックする。 【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】 看護師(別表3):専門分野 精神看護学 【その他】 ・各演習ではグループワークを実施し、他者に伝える力を養うとともに、意見の多様性を踏まえたコミュニケーション能力を養う。 ・ゲストスピーカーが参加する講義では、教員、実習病院指導者、訪問看護師、精神障害を抱える当事者やその家族等と学生とのディスカッションにより、精神看護のケアのあり方について理解を促す。 ・スマートフォン等からICTの利用によるアンケートフォーム(CustomForm®)を通して、学生の意見の共有や理解度の確認を行う。 ・授業中に映写した資料は、WebClassに掲示するので、事後学修に活用 【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】 当該科目に関連する実務経験の有無 有 ・精神科における看護師の実務経験を有する教員、精神看護専門看護師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えながら行う。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義・演習	プロジェクター	1	講義用スライド・教材の投影
講義・演習	PC	1	講義用スライド投影
講義・演習	書画カメラ	1	講義用スライド・演習内容発表投影
演習	ビデオカメラ	1	ロールプレイ撮影